

産業建設委員会

令和 7 年 6 月 18 日(水)

10 時 00 分～ 時 分

全 員 協 議 会 室

【委 員】川上委員長、田畑副委員長、

村木委員、大谷委員、小川委員、佐々木委員、牛尾委員

【議長・委員外議員】

【参考人】浜田商工会議所 本多氏、石央商工会 中田氏

【事務局】小寺書記

議題

1 取組課題について（参考人招致）

(1) 地域小売店及びゼロゼロ融資の問題について

2 議会による事務事業評価の進め方について（委員間で協議）

3 その他

6 月 18 日産業建設委員会 質問事項

【全般】

- ・ 会員事業者数の推移（業種別）について
- ・ 経営支援の状況（巡回指導、相談状況等）について
- ・ 事業承継の状況（後継者等）、相談件数とその内容、今後の見通し
- ・ 新規起業についての相談件数とその内容、傾向

【ゼロゼロ融資の問題】

- ・ ゼロゼロ融資で倒産が回避できても、返済が本格的に始まる頃になって企業の返済ができていないのかどうか、返済開始により倒産件数が増加したと言われているが現状はどうか
- ・ ゼロゼロ融資返済開始後の地元企業の実態調査
（特に建設業の苦境が伝わるが現況はどうか）
- ・ 回復基調にある経済状況が浜田市にとってどのような状況にあるか
- ・ ゼロゼロ融資の復活要望や期待感があるか
- ・ トランプ米政権の高関税政策による影響が懸念されている中小企業の資金繰り状況と見通し
- ・ 民間金融機関の支援策と活用の状況

【地域小売店の問題】

- ・ 小規模事業者の現状（売上高、補助金等経営状況）について
- ・ 地域小売店の代替策としての移動販売や宅配サービスなどの事業参入の状況は
- ・ 地域の小売店はコミュニティの場でもあり、住民が元気になる拠点の要素もあるため、まちづくりの視点での支援ができると良いと考えるが、取組の事例となるような案件の有無
- ・ 特に中山間地域におけるまちづくりセンターと協議をしたことがあるか
- ・ 地域交通施策との連携の考えや同施策への要望があるか
- ・ 公設民営の小売店のような展開が考えられないか
- ・ 適正価格、価格転嫁における問題と課題
- ・ 大手ドラッグストアの出店による地元事業者への影響
- ・ 飲食店の閉店が相次いでいる背景・要因
- ・ 駅周辺などで建物の撤去が進み、空き地が増えていることの現状認識と将来展望
- ・ 地元商店街の現状は（スタンプマリン組合が厳しいと聞いているが対策は）
- ・ 小売店経営者の年代別の構成数

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和6年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担 当 課 係		弥栄支所	産業建設課	産業振興係
事務事業名	ふるさと体験村維持管理事業		事業予算費目（一般会計）				
総合計画上の位置付け	大綱	地域別計画	款	6	農林水産業費		
	施策大綱	弥栄地域	項	1	農業費		
	基本目標		目	3	農業振興費		
	主要施策	交流人口の拡大	事業	345	ふるさと体験村維持管理事業		

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	豊かな自然環境を活かした農山村文化の体験による田舎暮らしの魅力を市内外へ発信する拠点とするとともに、地域資源の保存および継承を図るため、指定管理により施設を運営する。	事業の内容	- ふるさと体験村指定管理委託料 - 施設の維持管理費 - 案内標識設定工事費
市民ニーズの把握状況	宿泊客にアンケート調査 やさか表現大学の参加者にアンケート調査 SNS等で情報収集	市民参加・協働の有無その内容	交流体験「やさか表現大学」 毎月開催 （田植え、種・苗植え、収穫等が体験できる） 体験村周辺の清掃作業 毎月開催

■事務事業の業績・推移（DO）

目標と実績			設定した目標			目標/実績	目標/実績	目標	目標
						R5	R6	R7	R8
			・入込客数の増加 ・ふるさと体験村の宿泊客数の増加		目標	入込客 5,347人 宿泊客 1,391人	入込客 5,651人 宿泊客 1,530人	入込客 5,932人 宿泊客 1,614人	入込客 6,355人 宿泊客 1,851人
			設定した理由・背景		実績	入込客 8,791人 宿泊客 467人	入込客 10,264人 宿泊客 437人		
			ふるさと体験村への入込客数や宿泊者数を把握することにより、施設の運営状況の把握や改善方法の検討を行う。						
			R5年度決算	R6年度最終予算	R7年度予算	市民1人当たりのコスト			
事業費	総事業費		9,985,435	11,735,000	10,171,000	R5	199		
	財源内訳	国県支出金				R6	239		
		地方債				各年度4月1日時点の人口			
		利用者負担・その他		1,564,000		R5	50,129		
		一般財源	9,985,435	10,171,000	10,171,000	R6	49,096		

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	SNSによる情報発信や体験イベント、レストランの食材に地元産のそばや有機野菜を活用する等により入込客については目標を達成している。 しかし、宿泊客については目標を下回っており、今後どのようにして宿泊客を増やすかが課題となっている。
--------------------	--

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和7年度執行に向けた工夫点今後の課題など	宿泊増に向けた取り組みとして宿泊予約サイトの改善、宿泊料金の見直し、宿泊プランの新設を行う。 どぶろくの製造販売を行うための法人を令和7年3月に設立し、今年度中に製造販売ができるよう準備をおこなっている。 ふるさと体験村でどぶろくを製造販売することで、集客につながることが期待できる。 今後はSNSを活用した継続的な情報発信に加え、観光施設や地元企業等へのパンフレットの配布を行い、地域との連携を強化しながら、認知向上に向けた広報活動を行う。
-----------------------	--

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和6年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担当課 係 農林振興課		普及支援係
事務事業名	担い手等育成支援事業		事業予算費目（一般会計）		
総合計画 の位置づけ	大綱	I 活力ある産業を育て雇用をつくるまち	款	06	農林水産業費
	施策大綱	I-2 農林業の振興	項	01	農業費
	基本目標	1 産業振興と企業立地による雇用の創出	目	03	農業振興費
	主要施策	I-2-1 儲かる農業の推進	事業	368	担い手等育成支援事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	農地の保全による環境維持と生産活動を持続的に進めていくため、認定農業者や新規就農者、広域連携組織など今後の農業の担い手と成りうる経営体に対して支援を行い育成を図る。また、市の振興作物である3果樹（大粒ぶどう・赤梨・西条柿）や有機農産物、推進品目（組み合わせ作物）の生産者を支援し、産地振興を図る。	事業の内容	(1)担い手育成支援事業補助金 ・補助対象者：認定新規就農者、認定農業者、広域連携組織等 ・補助率：認定新規就農者：1/2、その他1/3他 ・補助上限額：200万円（ハウス整備を除く） (2)産地振興事業補助金 ・補助対象者：3果樹、有機農産物、組み合わせ作物の生産者 ・補助率：1/2 ・補助上限額：最大200万円
市民ニーズの把握状況	予算要求時に認定農業者等の事業対象者に要望調査を行う他、JAの部会を通じて要望の取りまとめを行っている。また、広報はまだやTEGO ネットだより（機関誌）、各支所担当課を通じて情報提供を行っている。	市民参加・協働の有無 その内容	事業対象となる市内生産者に要望調査を実施。

■事務事業の業績・推移（D0）

目標と実績	設定した目標				目標/実績 R5	目標/実績 R6	目標 R7	目標 R8	
	(1)振興作物農業産出額の増加(3果樹)：(R8)850,000千円(累計) (2)認定新規就農者の新規認定数の増加：(R8)5経営体(累計) (3)認定農業者の新規認定数の増加：(R8)5経営体(累計)			目標	(1)340,000千円 (2)2経営体 (3)2経営体	(1)510,000千円 (2)3経営体 (3)3経営体	(1)680,000千円 (2)4経営体 (3)4経営体	(1)850,000千円 (2)5経営体 (3)5経営体	
	設定した理由・背景								
	振興作物の産出額を増加させ、産地の維持発展につなげる。また、認定新規就農者や認定農業者を増やし、地域農業の核となる生産者を確保する。			実績	(1)367,289千円 (2)3経営体 (3)5経営体	(1)583,760千円 (2)3経営体 (3)8経営体			
				R5年度決算	R6年度最終予算	R7年度予算	市民1人当たりのコスト		
事業費	総事業費			21,939,000	27,553,000	32,000,000	R5	438	
	財源内訳	国県支出金						R6	561
		地方債						各年度4月1日時点の人口	
		利用者負担・その他			21,939,000	27,553,000	32,000,000	R5	50,129
		一般財源						R6	49,096

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	事業要望数については年度ごとに変動するが、生産者の要望に応じて事業実施できている。 近年は、高齢化等を理由に農家数が減少する一方で、認定農業者等の中心経営体への農地集積も進んでおり、農業機械の大型化の需要も高まっている。 本事業により、物価高騰が続く中新たな投資に取り組む生産者の負担軽減が図られたことにより、農業振興及び農地維持に効果があったと考える。
--------------------	---

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和7年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	「担い手育成支援事業補助金」と「産地振興事業補助金」を事業の目的で整理を行い、担い手育成を目的とした「担い手育成支援事業補助金」と「中核的経営体等育成支援事業」を統合し「中核的経営体支援事業」に、また、産地振興を目的とした「産地振興事業補助金」に「有機JAS認証拡大支援事業」を加え「産地振興事業」とし、より生産者に分かりやすい事業に改めた。
---------------------------	---

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和6年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担 当 課 係		商工労働課 事業支援係	
事務事業名	浜田市商業活性化支援事業		事業予算費目 （ 一 般 会 計 ）			
総 合 計 画 上 げ の 位 置 付 け	大 綱	I 活力ある産業を育て雇用をつくるまち	款	07	商工費	
	施策大綱	I-3 商工業の振興	項	01	商工費	
	基本目標	1 産業振興と企業立地による雇用の創出	目	02	商工振興費	
	主要施策	I-3-2 商業・サービス業の振興	事業	440	浜田市商業活性化支援事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	商店街等が実施する賑わい創出及び消費者への需要喚起や、浜田市内の空き店舗等へ出店する事業者を支援することにより、新規創業や地域商業の活性化に繋げる。	事業の内容	・ 商業支援事業補助金 ・ 商店街等活性化支援事業補助金
市民ニーズの把握状況	・ 商業支援事業補助金については、市、浜田商工会議所、石央商工会及び島根県よろず支援拠点等の相談受付状況により把握をしている。 ・ 商店街等活性化支援事業補助金については、各商店街に意向確認をしている。	市民参加・協働の有無 その内容	・ 商業支援事業補助金については、機運醸成を含めた創業セミナーへ市民参加（令和6年度は31名）を促すことにより、創業希望者の補助金活用を促進している。 ・ 商店街等活性化支援事業補助金については、主に市民が多く参加するイベント実施への支援となっている。

■事務事業の業績・推移（DO）

目標と実績		設定した目標		目標/実績		目標/実績		目標		目標			
		【R7年度】 ・ 商業支援事業補助金 ⇒前年度からの継続3件+新規申請者6件＝9件 ・ 商店街等活性化支援事業補助金 ⇒市内5商店街+1団体＝6件		目標		R5		R6		R7		R8	
		設定した理由・背景		実績		商業支援11 +商店街7 ＝18件		商業支援11 +商店街6 ＝17件		商業支援9 +商店街6 ＝15件		商業支援11 +商店街6 ＝17件	
		【R7年度】 ・ 商業支援事業補助金 ⇒前年度実績及び最近の動向をふまえ積算 ・ 商店街等活性化支援事業補助金 ⇒市内5商店街+1団体＝6件											
		R5年度決算		R6年度最終予算		R7年度予算		市民1人当たりのコスト					
事業費	財源内訳	総事業費		12,041,000		9,060,000		13,500,000		R5		240	
		国県支出金		5,495,000		3,945,000		6,000,000		R6		185	
		地方債								各年度4月1日時点の人口			
		利用者負担・その他								R5		50,129	
		一般財源		6,546,000		5,115,000		7,500,000		R6		49,096	

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	商業支援事業補助金については、以下のように考えている。 ・ 廃業先が増える中、新規創業者支援を行うことで、商業機能の維持に一定の成果があった。 ・ 新規創業者に対し、商工団体等による開業前後の経営支援を実施しており、円滑な開業や開業後の事業安定化を支援できた。
--------------------	--

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和7年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	商業支援事業補助金については、商工団体からの要望をふまえ、年度当初や一定時期に申請が集中することに配慮するため、これまでの「随時受付」から「定期受付」（審査会開催月を6月、8月、10月、12月、1月）とする。また、本補助金の支援メニューとして、「商業環境整備」、「移動販売等支援」については、ここ数年申請実績がないため、補助要綱から外し、各商店街組合へのヒアリングを実施し、新たな支援策の構築を目指す。
---------------------------	---

産業建設委員会関係請願及び陳情（令和 6 年度）

【請願】

番号	件名	審査日	審査結果
10	治和町 3-1 町内住民利用の主要道路の整備促進に関する請願について	R6. 6. 27	採択

【陳情】

番号	件名	審査日	審査結果
145	美川小学校建て替えに伴う浜田市道改良の陳情について	R6. 6. 27	賛成少数 不採択
146	地籍調査の迅速な実施に関する陳情について	R6. 6. 27	賛成全員 採択
150	商業支援事業補助金に関する陳情について	R6. 6. 27 R6. 9. 12	継続審査 賛成多数 採択
152	総合振興計画等で市が言う「儲かる農業」とは どういう状態なのか？や「農業所得の向上」の 説明を求める陳情について	R6. 9. 12	賛成多数 採択
153	美又温泉会館に財政支援をお願いする陳情につ いて（※附帯意見あり）	R6. 12. 12 R7. 2. 25	継続審査 賛成少数 不採択